

授業科目名	高齢者福祉論	単位数	2
担当教員名	伊東 一郎	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲の助長を担うべきものである。</p> <p>共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生活実態を理解し、高齢者を取り巻く社会問題を説明できる ・ 介護保険制度の仕組みを説明できる ・ 介護保険制度の各種サービスについて説明できる ・ 高齢者の暮らしを支える関係法規について概説できる ・ 高齢者、家族を支える組織とその役割について説明できる 			
<p>授業の概要</p> <p>この科目では、社会福祉士として高齢者と関わる際に知っておくべき高齢者を取り巻く社会環境や介護保険制度をはじめとした法制度について解説している。これらを知ることで、様々な困難な状況に置かれている高齢者に対し、その人に適したサービスへとつなげることができたり、あるいは、今あるサービスでは不十分なところを見つけ、ソーシャルアクションを起こしたりするのに役立つことが期待される。また、高齢者を支援する様々な組織や専門職とその役割を知ることによって、高齢者や家族への適切な支援のあり方を考察していく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：高齢者の特性（社会的、身体的、精神的理解）</p> <p>第2回：少子高齢社会と高齢者（少子高齢社会と社会的問題、高齢者を取り巻く諸問題）</p> <p>第3回：高齢者保健福祉の発展（高齢者観の変遷、高齢者福祉の発展過程、高齢者福祉の理念）</p> <p>第4回：高齢者支援の関係法規（高齢者保健福祉の法体系、老人福祉法）</p> <p>第5回：高齢者支援の関係法規（高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー新法）</p> <p>第6回：高齢者支援の関係法規（高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児介護休業法）</p> <p>第7回：介護保険制度の基本的枠組み（制度の全体像、目的と理念）</p> <p>第8回：介護保険制度の基本的枠組み（保険財政、保険者と被保険者）</p> <p>第9回：介護保険制度のしくみ（要介護認定、保険給付、介護報酬）</p> <p>第10回：介護保険制度のしくみ（地域支援事業、介護保険事業計画、質の確保のしくみ）</p> <p>第11回：介護保険サービスの体系（専門職の役割と実際、居宅サービス）</p> <p>第12回：介護保険サービスの体系（施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス）</p> <p>第13回：高齢者と家族を支援する組織と役割（行政機関、サービス事業者、国保連）</p> <p>第14回：高齢者と家族を支援する組織と役割（地域包括支援センター、シルバー人材センターなど）</p> <p>第15回：高齢者と家族等に対する支援の実際（地域包括ケアシステムにおける支援など）</p>			

定期試験

教科書

最新・社会福祉士養成講座2「高齢者福祉」(中央法規)

参考文献

特になし

学生に対する評価

レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。